

TF 答申に対するタスク管理 (案)

項目	TF 答申	当該事業の現状と人件費	現時点での決定事項	責任者	執行部案	スケジュール	得られる成果(人件費、経費の増減)
職員数 (人件費削減)	正規職員 3 名以下	正規職員 5 名 契約社員 3 名 (非常勤は週 5 日に換算) 経費 6340 万円		金澤・早下	別紙資料あり		
会員管理	学会事務局が独自に運用	国際文献社 正職員数:0.5		石濱			
「ぶんせき」	電子化 外部委託または契約職員が対応できる程度にまで業務を軽減	(2020年度予算ベース) 経費:3189万円(含共通費) 正職員数:0.5	2021 年度から電子化 (理事会決定)	原田		(仮)①20 年度:委員会で検討・精査→予算案作成→理事会に提案 ②21 年度:	経費減:印刷費, 郵送料 収入減:広告費
「分析化学」	必要性和経費の観点から検討 事務局業務量をゼロに漸近	WEB 投稿開始 (2020年度予算ベース) 経費:1656 万円(含共通費) 正職員数:0.5		原田			
「Anal. Sci.」	信頼できる外部委託先の決定	(2020年度予算ベース) 経費:3972 万円(含共通費) 正職員数:1.0		原田・石濱			
「X-ray Structure Analysis Online」	2 年後廃止	(2020年度予算ベース) 経費:180 万円(含共通費) 正職員数:0.1		原田			
年会・討論会の開催	2 年後を目処に実行委員会による自主運営	正職員数:0.8		大谷			
標準物質の製造・頒布	事業の廃止、または産総研、鉄鋼協会などの外部機関に譲渡	(2020年度予算ベース) 収入:1623万円 経費:1371万円(含共通費) 利益:252万円 頒布価格を元にした在庫:108,798万円 正職員数:0.0, 臨雇のみ		宮野	(仮)①今後、標準物質の製造を行わず、在庫のみ分析化学会名での頒布を続ける。品質管理及び会計処理だけとする ②廃棄はしない ③外部業者(西進商事)が開発製造を行い、学会のブランドで頒布し、売上げに応じたフィーを得る	(仮)2021 年度より実施	経費は削減される見込み
技能試験	廃止、他の責任母体への移行	(2020年度予算ベース) 収入:1,336万円 経費:1,312万円(含共通費) 利益:24万円 正職員数:0.0, 臨雇のみ		宮野	(仮)案①廃止する 案②収支が見合うものを継続する		①の場合、利益はゼロ。人件費のコスト削減 ②の場合、
本部主催の講習会・講演会	廃止、他の責任母体への移行	(2020年度予算ベース) 収入:349万円 経費:325万円(含共通費) 利益:24万円 正職員数:0.1	2020 年より本部主催 8 →3 件とし、残りは 2021 年より残りを含めて関東支部へ移管	宮野・早下	支部への移行をさらに進める		
分析士試験	廃止、他の責任母体への移行	(2020年度予算ベース) 収入:553万円 経費:874万円(含共通費) 利益:▲321万円 正職員数:0.3		宮野	分析化学会名での分析士制度は残す。正職員人件費ゼロとする仕組みを委員長と協議	(仮)2021 年より実施	人件費は臨雇のみとし、黒字化

正職員数は2020年度予算策定に用いた数字。その他、会計1.0, 広報0.1, 褒賞0.1